

Pair Letter

ペアレター



特集 医科・歯科多職種連携

病気の悪化を防ぐ

医師が選ぶ！

「ベストドクター」に選ばれました

脳血管内治療

〜切らずに脳の病気を治す〜

心温まる多くの「ご寄附に

感謝いたします

発行元：松戸市立総合医療センター 総務課

外来診療一覧 (R2.7.1現在)

詳細はホームページの各診療科の案内をご覧ください

診療科名	外来表(一般外来及び予約専門外来)	備考	
内科系	内科	内分泌・代謝／アレルギー・リウマチ・膠原病／腎疾患	
	循環器内科	一般外来／ペースメーカー外来	
	呼吸器内科	一般外来	
	消化器内科	一般外来	
	脳神経内科(予約制)	一般外来	
	血液内科	一般外来	
	緩和ケア(予約制)	診察は外来主治医と相談	
	総合診療科	一般外来	
	皮膚科(完全紹介予約制)	一般外来	月曜日休診
化学療法内科(予約制)	診察は外来主治医と相談		
外科系	外科・消化器外科・乳腺外科	一般外来	
	呼吸器外科	一般外来	火・金曜日休診
	心血管外科(予約制)	一般外来	火・木・金曜日休診
	脳神経外科	一般外来	
	整形外科(完全紹介予約制)	一般外来／小児整形／成人股・膝・肩・肘関節／側弯症／リウマチ	
	形成外科(予約制)	一般外来	水曜日休診
	眼科(完全紹介予約制)	一般外来	火曜日・木曜日午後休診
	耳鼻いんこう科(完全紹介予約制)	一般外来	
	泌尿器科	一般外来	
	産婦人科(予約制)	一般外来／妊婦検診／不妊外来／コルポ外来	
歯科口腔外科(完全紹介予約制)	一般外来	月曜日手術日により初診のみ	
小児	小児科	一般外来／小児神経／腎臓／アレルギー／呼吸器／血液／循環器／感染／内分泌	
	小児外科(月曜午後予約再来のみ)	一般外来	月曜日午前休診、水・金曜日休診
	小児脳神経外科	一般外来	月・水・木曜日休診
	小児心血管外科	一般外来	火・木曜日休診
	新生児科(予約制)	一般外来／シナジス	月曜日午後・火曜日午後休診
その他	放射線治療科	一般外来	水曜日休診
	救急科(再来)(予約制)	再来患者11:00～12:00	
	精神科	現在休診中	
特別外来	女性特別外来(予約制)	一般外来	月曜日以外は休診
	禁煙外来	総合診療科外来へ	
	セカンドオピニオン外来(予約制)	一般外来	
	母乳外来(予約制)	産婦人科外来へ	
	ストーマ外来(予約制)	人工肛門／人工膀胱(外科・泌尿器科外来または外来主治医へ)	

松戸市立総合医療センター Matsudo City General Hospital

〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993番地の1
TEL 047-712-2511(代) FAX 047-712-2512(代)

【診療】 月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始は休診)

【受付時間】 初診：午前8時30分～午前11時
再診：午前8時～午前11時



総合医療センター
QRコード

【完全紹介予約制】は、地域の医療機関からの紹介状と事前の受診予約が必要です。

【予約制】は、事前の受診予約が必要です。(6ページを参照)

交通アクセス：有料駐車場有(513台) 松戸駅・北松戸駅から新京成バス
馬橋駅・北松戸駅からゆめいろバス、新京成八柱駅からシャトルバス



脳血管内治療

「切らずに脳の病気を治す」

当院では、脳出血やくも膜下出血、脳梗塞などの脳血管障害や頭部外傷、脳腫瘍を中心に診療しています。また、脳の病気が発症する前の予防的治療も行っています。当院の診療体制や治療法を紹介します。

県内13人しかいない
日本脳神経血管内治療学会指導医

脳神経外科 部長
たじま ようすけ
田島 洋佑

2005年千葉大学医学部卒業。旧松戸市立病院での初期研修後、千葉大学医学部附属病院、千葉県循環器病センター、千葉県救急医療センター、君津中央病院を経て2020年より現職。



脳神経外科の病気に対する主な治療法

- ・開頭などによる外科的手術
 - ・脳血管内治療(カテーテル治療)
 - ・放射線治療
 - ・薬による内科的治療
- ※当院では、病気の状況に加えて、患者さんの年齢や全身状態などを考慮し、より適切な治療を選択しています。

脳血管内治療ってどんな治療？

脳血管内治療は、カテーテルという細いチューブを血管の中に入れ、脳や首の血管の病気を治す「開頭せずに」行う治療法です。この治療法は、症状が現れる前の「予防的な治療」にも活用されています。

【メリット】

- ① 外科的手術と比べて、身体的な負担が少なく、入院日数も短い
- ② 脳の深部でも、周辺の脳へ影響を与えずに治療が可能
- ③ 特に高齢者や全身麻酔ができない方には有効

『コイル塞栓術』で

脳動脈瘤破裂を防ぐ！

脳動脈瘤とは？

脳内の血管壁の一部が弱くなったり薄くなったりにして瘤(こぶ)状に膨らんだものをいいます。原因としては、喫煙や過度の飲酒、高血圧、遺伝などが関連していると考えられています。

脳動脈瘤が破裂するとうなるの？

くも膜下出血をおこします。くも膜下出血をおこすと、激しい頭痛が起き、吐き気や嘔吐、場合によっては意識を失ったりすることもあり、突然発症してそのまま命を落とすケースも少なくありません。また、命を取りとめたとしても、いろいろな後遺症に苦しまなければならないことがあります。そのため、破裂する前の「未破裂脳動脈瘤」を発見し、予防的治療することが重要となります。

未破裂脳動脈瘤はどっやっで見つけるの？

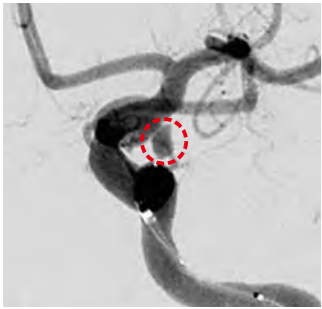
頭部MRI、MRA(※)や造影剤を用いたCT検査で見えます。脳動脈瘤は破裂するまで多くの方は全く症状がありません。そのため、脳ドックなどで発見されるケースが多いです。
※MRAとは、造影剤というお薬を使用せず脳内の血管を描き出すことができる検査です。

脳動脈瘤が破裂する前に治療する「コイル塞栓術」

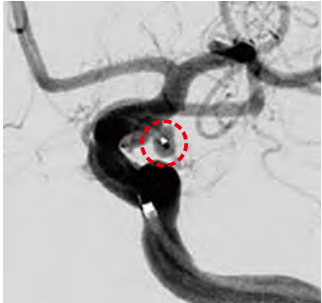
【治療方法】

未破裂脳動脈瘤の主な治療法としては、外科的手術以外に「コイル塞栓術」という治療法があります。カテーテルを足の付け根などから動脈瘤内まで挿入し、プラチナ製の細くて柔らかいコイルを詰めて動脈瘤を閉塞(へいそく)することで、破裂を予防する治療方法です。

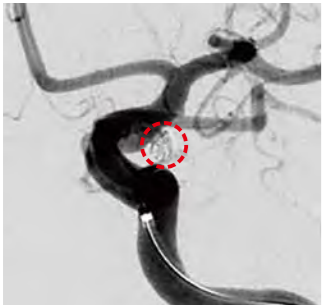
コイル塞栓術



① 左内頸動脈に5mmの動脈瘤を認めます



② 細いカテーテルを動脈瘤内に誘導します



③ コイルを詰め、動脈瘤が写らなくなりました

松戸脳卒中ネットワークで 市民の命を救う



脳卒中(脳梗塞、くも膜下出血など)は、予防とともに発症初期の治療がとても大切です。

「松戸脳卒中ネットワーク」は、当院を含む松戸市内4病院の脳卒中担当医と市消防局救急隊が連携し、脳卒中から市民の命を救うネットワークとして、2014年12月にスタートしました。当番医制を引くなど、市民に迅速な治療を提供する体制が整っています。



脳神経外科の皆さん

(左から)田巻医療技術局長、烏谷病院長、田島部長、渡邊医師、宮川小児脳神経外科部長、(前列左から)清水医師、佐々木医師、矢吹医師

医科・歯科 多職種連携
病気の悪化を防ぐ

歯を健康に保つことは、全身の健康管理に深く関わります。当院の歯科口腔外科の役割と口腔ケアの大切さを紹介します。



当院の歯科口腔外科とは？

当院は、口腔外科専門医の資格をもつ歯科医師1名と認定医2名、歯科衛生士5名の計8名の充実した体制で、きめ細やかな対応を行っています。当院の歯科口腔外科は、地域の歯科クリニックなどで行う虫歯などの一般歯科治療とは異なり、口腔腫瘍、のう胞、事故などによる口腔顎顔面のケガや骨折などの外傷治療、重症な患者さんへの専門的治療を行っています。また、当院へ入院された患者さんに対しても、医科と歯科が連携をし、質の高い医療・口腔ケアを提供しています。

どのような疾患を診察しているの？

- ・口腔顎顔面の切り傷などのケガや骨折などの外傷
 - ・口唇口蓋裂、顎変形症などの奇形、変形
 - ・口腔腫瘍、のう胞
 - ・顎関節症
 - ・口腔粘膜疾患
 - ・口腔乾燥症
 - ・親知らずや埋伏歯、過剰歯などの抜歯（入院中に複数の親知らずを抜歯し、早期に退院する短期入院が可能）
- このような診療を地域のかかりつけ歯科医院や大学病院と連携を取りながらきめ細やかな医療を提供しています。



口腔ケアで合併症を防ぐ！

口の中には、約3000〜9000種類、約1000億から1兆個もの細菌が生息していると言われていて、年齢と共に抵抗力が低下し、病気で免疫が下がると更に菌が活発に活動し始め、全身に悪影響を及ぼします。細菌による炎症性物質が、血液の中に流れ込むと、脳梗塞や心筋梗塞などのリスクが高まります。また、糖尿病患者さんは歯周病にかかりやすく、重症化すると血糖のコントロールが悪くなるといわれています。このように口腔ケアを怠ると重大な合併症を引き起こす原因となります。

手術前後のお口のケアは大切！

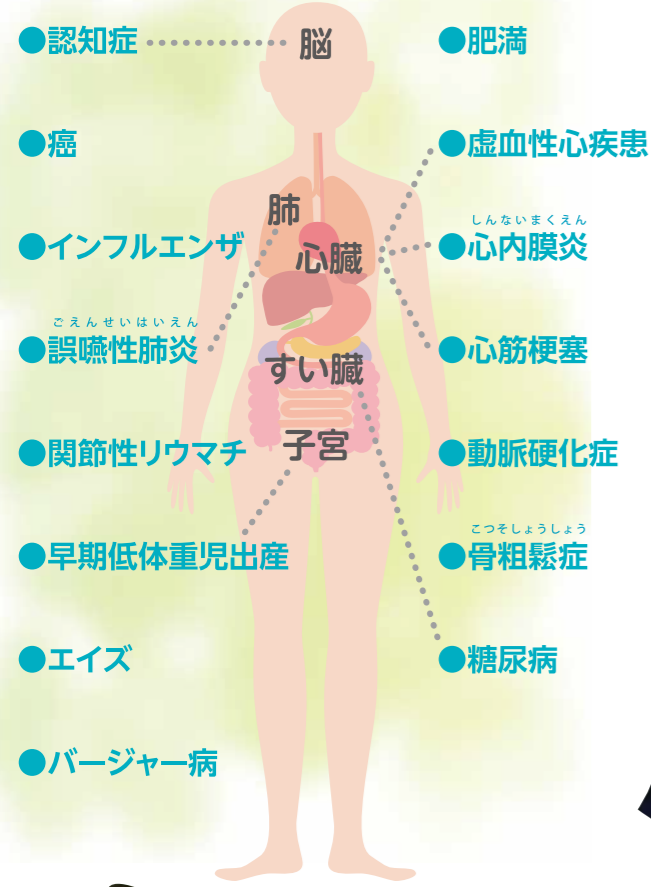
体調を崩したり、免疫力が低下すると歯や口腔粘膜が痛んだり、歯肉が腫れるなどのお口のトラブルが現れることがあります。入院中の患者さんにも、歯やお口のトラブルを抱えている方が多く見受けられます。当院には、がんを始め、さまざまな疾患をお持ちの患者さんが入院し治療を行っています。手術前後に歯科治療や口腔ケアを行うことで、手術後の傷口の感染や肺炎のリスク、合併症の発症を抑え、また、抗がん剤や放射線治療による副作用を予防する効果も期待できます。

病室でプロフェSSIONナルなケアを！

入院中の病室に歯科衛生士が巡回し、手術前や手術後など患者さんの症状に合わせた専門的な口腔ケアを提供し、患者さんが早期に退院できるお手伝いをしています。特に手術後などは体力が落ちたり、食事や唾液を飲みこむ力も衰えてしまつこともあるため、歯科衛生士が摂食・嚥下認定看護師や言語聴覚士と共に全身の健康管理に携わっています。

- ①お口の中を診察し、虫歯や歯周病などがないかをチェック
- ②患者さんのお口に合った歯磨きの仕方を指導
- ③歯石除去や歯のクリーニング

口腔内の細菌が原因で起こる主な合併症



歯科口腔外科 主任部長
あおき あきのぶ
青木 暁宣 博士(歯学) 口腔外科専門医

2004年日本大学松戸歯学部卒業。総合病院国保旭中央病院 歯科・歯科口腔外科、2014年日本大学松戸歯学部顎顔面外科学講座 専任講師を経て、2019年11月より現職。

歯科口腔外科 医長
ともき りさ
友木 里沙 博士(歯学) 口腔外科認定医

2010年日本大学松戸歯学部卒業。同附属病院歯科医師臨床研修了。日本大学松戸歯学部顎顔面外科学講座を経て、2019年9月より現職。

歯科口腔外科 部長
いしがみ だいすけ
石上 大輔 博士(歯学) 口腔外科認定医

2005年鶴見大学歯学部卒業。同附属病院歯科医師臨床研修了。2007年日本大学松戸歯学部顎顔面外科学講座、2015年旧松戸市立病院を経て、現職。

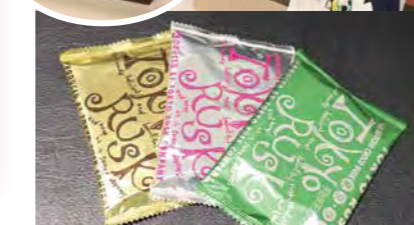




心温まる多くのご寄附に 感謝いたします

新型コロナウイルス感染症が拡大し、衛生材料の不足や医療スタッフのメンタルケアが大きな課題でもありました。そうした中、市民の皆さんや企業の方々から励ましのお言葉とともに沢山のご寄附をいただき誠にありがとうございます。

皆さんからいただきましたご寄附を大切にに使わせていただくと共に、今後も「来てよかった」と思われる病院を目指して日々取り組んでいきます。



院内感染防止への取り組みにご協力いただきありがとうございます

当院は、東葛北部保健医療圏の感染症指定医療機関として最前線で患者さんの治療に当たっています。緊急事態宣言は解除されたものの、いまだ消滅はしないウイルスとの闘いは続いています。当院では、院内感染対策室を中心とし、正面玄関での体温測定や面会制限を行うなど感染予防の徹底に努めてきました。患者さんやそのご家族にもご協力をいただき、心より感謝申し上げます。引き続き、安心して医療を受けていただけるよう院内の感染予防の徹底に努めていきます。



外来を受診される方へ

診療科により、紹介制や予約制を設けておりますので、受診の際は
お電話または診療科のホームページをご覧ください。



※1 以前当院を受診した方でも初診になる場合があります

- ・診療を受けていた病気が治癒した後、新たな病気について診療を受ける場合
- ・予約日に受診せず、任意に診療を中止し、一定期間経過した場合

※2 初診の予約方法

- ・かかりつけ医から紹介状を受け取り、患者さんがお電話で予約をする方法
(お手元に紹介状をご準備ください)
- ・かかりつけ医からFAXで予約をする方法

※3 次の場合は選定療養費のご負担はありません

- ・救急車で当院に搬送された方
- ・生活保護による医療扶助の対象となる方
- ・特定疾患など各種公費負担制度受給対象の方
- ・労働災害・公務災害で受診の方
- ・今回受診する診療科は初めてだが、別の診療科に通院中の方

新任部長紹介

脳神経内科部長
西村 寿貴

脳神経外科部長
田島 洋佑

循環器内科部長
高橋 秀尚

放射線診断科部長
篠崎 淳

放射線治療科部長
小林 裕樹

医師が選ぶ!『ベストドクター』に選ばれました。

当院の小児医療センター所長 平本龍吾医師、小児脳神経外科部長 宮川正医師がベストドクターズ社から医師同士の評価によって選ばれる「Best Doctors in Japan 2020-2021」に選出されました。



2度目の選出となる平本医師は、小児科常勤医師30名と共に、あらゆる小児科領域の軽症から最重症までの診療を手掛けています。

小児医療センター所長 平本 龍吾

1984年に自治医科大学卒業後、旧松戸市立病院にて初期研修開始。9年間の義務年限終了後、当院小児科医長として勤務。途中、トロント小児病院に短期留学。同科部長を経て、2019年より現職。専門は小児腎疾患(ネフローゼ・慢性腎炎・ループス腎炎等)および小児救急。



小児脳神経外科 宮川医師は、近隣はもとより県外や海外の子ども達に対しても、高度で専門的な医療を提供しています。

小児脳神経外科部長 宮川 正

1993年浜松医科大学卒業。千葉大学医学部附属病院にて脳神経外科の研修を開始し、アメリカのメモリアル・スローン・ケタリング癌センター、マイアミ大学、ワシントン大学などの小児脳神経外科を経て2014年より現職。専門は小児脳腫瘍、頭蓋縫合早期癒合症、虐待による頭部外傷など。

